

1. はじめに

秋学期が終わり冬学期にはいった。九月当初は環境に慣れず勉強の仕方も分からなかったが、今はだいぶ慣れてきた。秋学期と冬学期の間には10日間程学期休みがあったため、私はルームメイトのお家に滞在させてもらった。その間に Thanksgiving Day という感謝祭の祝日があった。その時の様子を以下に紹介する。

2. 生活

2.1. 授業

2.1.1. Reading and Writing 1

要約文を書く時のステップを習った。筆者が伝えたいこと(main idea)を読み取らなければならない。また、文章を読んだ後に要約文を書く時、ついつい文章で使われている単語やフレーズをそのまま使用してしまう。そうではなくて、自分の言葉を使って要約する必要がある。結論を書く時の戦略も習った。避けた方がよい結論の書き方もそれと同時に習った。良い文章を書くことは、その戦略を知っているかどうかで大きく違うと感じた。しかし私のレベルでは、その戦略を知ったうえでさらに語彙力を増やすことが必須であると感じる。語彙力が少ないため伝えたいことも伝えられない。来学期は Reading and Writing 2 を履修するつもりなので、語彙力を増やして頑張っていきたい。

2.1.2. Listening and Speaking

今月は Ted Talks を模したプレゼンテーションがあった。テーマは自分の専攻についてだったので、バイオ学科の私は遺伝子組み換え食品について発表した。皆が理解しやすいように、専門用語をできるだけ使わないようにすることに気を付けた。評価はまずまずであったが、満足のいかない発表であった。練習不足と緊張で、途中で止まってしまうことが何度かあった。私のプレゼンテーションの良くないところは原稿を丸暗記してしまうことだ。言いたいことを整理して、序論、本論、結論と正しい手順で発表できればいいのだがなかなか難しい。スツと思ったことを英語で言うのは難しく、まだ頭の中でいろいろ考えて英語にしている。その考える時間を少しでも短くしていきたい。先生からの評価に関して、ゆっくり話してもいいから、言葉に強弱やイントネーションをつけるようアドバイスを頂いた。しかし、パワーポイントの評価は満点をもらうことができたのでとても嬉しかった。

2.1.3. Cell Structure and Function

先月に引き続き、転写と翻訳を中心に授業が行われた。それらが開始、伸長、終結の3つの段階で行われること、そしてそれらについて詳しく教わった。また、突然変異とそれが起こる要因や真核生物と原核生物で転写、翻訳の過程が違うことなどを学んだ。今月で授業が終わったのだが、KIT で既に習った内容であっても忘れていたり、理解していなかったりと自分の知識不足を実感した。これまでの実験の内容は、PCR法と電気泳動法を利用して、DNAの塩基配列を分析した。そのためPCR法と電気泳動法の原理や方法などを学んだ。

2.2. 学期休みと Thanksgiving Day

ルームメイトのご両親に会うのは2回目だったのでそれほど緊張はしなかった。休みの間、映画や食事に連れてってもらったり、ルームメイトの友達を紹介してもらったりと楽しい時間を過ごすことができた。Thanksgiving Day は11月の第4木曜日と決まっている。その日の夜の食事は、ルームメイトの両親が腕をふるって、伝統的な料理である七面鳥やマッシュポテト、クランベリー、パイ、スイートポテトマッシュマロ等他にもたくさんの料理を作ってくれた。その時の様子を以下の写真に示す。また、Thanksgiving Day の間はフットボールの試合がずっと放映されている。ルームメイトの家族に交じり、一緒に試合を見て楽しい時間を過ごすことができた。アメリカのリアルな生活を体験できたことはとても良い経験になった。さらに、冬休みも歓迎してもらった。まだ、先の事なので分からないがまた訪れたいと既に思っている。本当に親切に接してもらい、ルームメイトはもちろんルームメイトの家族には感謝してもしきれない。



3. 研究

「アメリカの食生活と栄養バランス」

ルームメイトの家には少しばかりではあるが滞在して思ったことは、外食が多いことだ。10日間のうちに少なくとも5回は外食をした。学校の食堂には野菜やフルーツ等も揃っているの、栄養バランスの整った食事をするのが可能だ。そのためか、学生に肥満体形の人ほとんどいない。しかし、街で見かける大人は肥満体形の人が多いように感じる。一般家庭において、回数の多い外食は栄養バランスが偏る一つの要因かもしれない。また、少人数ではあるがアンケートを実施した。一番面白いと思ったのは、ポテトやコーンを野菜という人もいれば、野菜ではないという人もいるということだ。まだ少数にしかアンケートを実施していないので、今後も続けていきたいと思う。

4. おわりに

今月ルームメイトから嬉しい知らせがあった。ルームメイトが2019年の春休みに日本に留学することが決定した。以前から留学に興味があることは知っていたが、まさか日本だとは思わなかった。KITとRHITのプログラムではないが、ルームメイトと再会するかもしれないと思うと少し気持ちが高揚した。今のうちから日本独自の面白い文化や習慣、言語等、伝えていけたらいいと思う。